

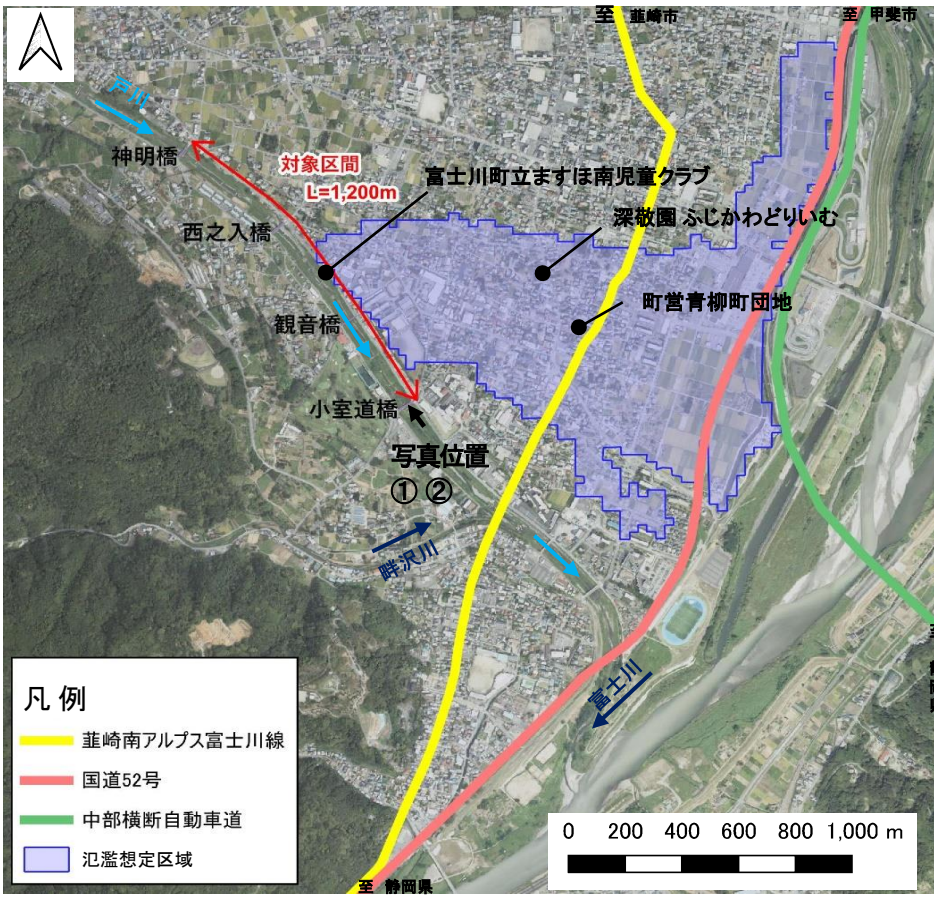
1. 事業説明シート

(区分) 国補 ・ 県単

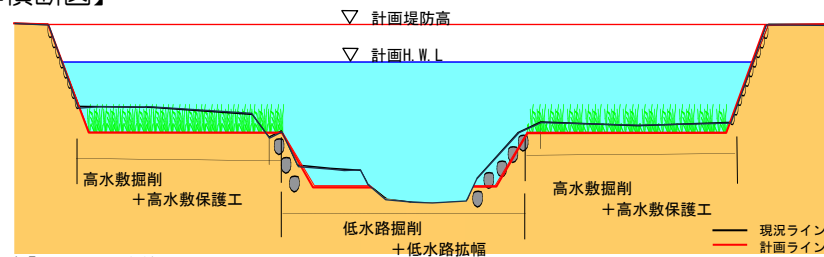
事業名	治水事業〔統合一級河川整備事業（国補）〕	事業箇所	南巨摩郡富士川町最勝寺	地区名	戸川	事業主体	山梨県																																						
（１）事業の概要 ①課題・背景 戸川は、富士川町を西から東へ流下し、途中利根川、畔沢川を合わせて富士川に合流する河川で、流域面積28.7km²、流路延長8.5kmの一級河川である。 下流端から約1.4km上流の小室道橋から神明橋まで1.2km上区間は流下能力が低く、豪雨時の氾濫リスクが高い状況にあり、平成14年7月台風6号、平成23年9月台風15号の際には特に水位が上昇し、危険な状況となった。左岸部は築堤河道の形状を呈しており、流下能力の不足により、越水や破堤が生じた場合には、扇状地地形に沿って広範囲の浸水被害が生じる恐れがあり、地域住民の生命・財産及び基幹インフラを守るために、早急に治水対策を行う必要がある。 ②整備目標・効果 □主要目標 ○洪水被害の防止 - 改修目標流量に対する現況流下能力の割合： 0.77>0.4以下※※評価基準値 - 浸水被害又は水防活動の実績：有 - 想定氾濫区域内における災害発生時の影響：有 （重要な公共施設：富士川町立ますほ南児童クラブ、町営青柳町団地 要配慮者利用施設：深敬園 ふじかわどおりむ 主要道路：国道52号 県道韮崎南アルプス富士川線） □副次目標 — □副次効果 ○被災時の被害波及の防止 （第1次緊急輸送道路：国道52号、第2次緊急輸送道路：県道韮崎南アルプス富士川線）				（３）事業の妥当性評価 ①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） ○ ○ ・河川法第1条及び第9条により河川の洪水防止を義務付けられている。 ②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） ○ ○ ・県が管理する一級河川（指定区間）である。 ③経済妥当性 ○ ○ <table><tr><td>総事業費</td><td>740 百万円</td><td>工期</td><td>R8～R13</td><td>基準年</td><td>R7</td></tr><tr><td rowspan="5">経済効率性</td><td>費用</td><td>696 百万円</td><td>便益</td><td colspan="2">837 百万円</td></tr><tr><td>建設費</td><td>625 百万円</td><td>一般資産被害防止額</td><td colspan="2">416 百万円</td></tr><tr><td>維持管理費</td><td>71 百万円</td><td>公共土木施設等被害防止額</td><td colspan="2">333 百万円</td></tr><tr><td></td><td></td><td>その他※</td><td colspan="2">88 百万円</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="3">B／C</td><td colspan="3">1.2</td></tr></table> ※その他は、農作物被害便益、営業停止損失便益、応急対策費用便益 費用便益比（B/C）は、国の採択基準1.0を超えている。 ④事業実施・規模の妥当性 ○ ○ ・築堤区間かつ流下能力が低く、浸水時の被害が大きいと想定される区間とした。 ⑤整備手法の有効性 ○ ○ ・浸水被害を早急に解消するために、経済性も踏まえ最も優れた工法を選定する。 ⑥環境負荷等への配慮 ○ ○ ・既設巨石護岸を維持するなど、環境負荷を低減するとともに河川景観の維持に努める。 ⑦事業計画の熟度 ○ ○ 地元からの強い整備要望に基づいており、地域の同意は得られている。 総合評価 ○ ○ 【貢献度ランク：a】				総事業費	740 百万円	工期	R8～R13	基準年	R7	経済効率性	費用	696 百万円	便益	837 百万円		建設費	625 百万円	一般資産被害防止額	416 百万円		維持管理費	71 百万円	公共土木施設等被害防止額	333 百万円				その他※	88 百万円							B／C			1.2		
								総事業費	740 百万円	工期	R8～R13	基準年	R7																																
								経済効率性	費用	696 百万円	便益	837 百万円																																	
									建設費	625 百万円	一般資産被害防止額	416 百万円																																	
維持管理費	71 百万円	公共土木施設等被害防止額	333 百万円																																										
		その他※	88 百万円																																										
B／C			1.2																																										
（２）整備内容 ①整備内容 河川改修 L=1,200m ②着手年度 令和8年度 ③完成見込年度 令和13年度 ④総事業費 約740百万円 ⑤年度別の整備内容 （事業費） 令和8年度 詳細設計、河道掘削工、護岸工 140 百万円 令和9～13年度 河道掘削工、護岸工、高水敷保護工 600 百万円 ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。 ⑥既整備内容・期間・事業費 無し				（４）事業位置図等																																									

2. 添付資料シート

【平面図】



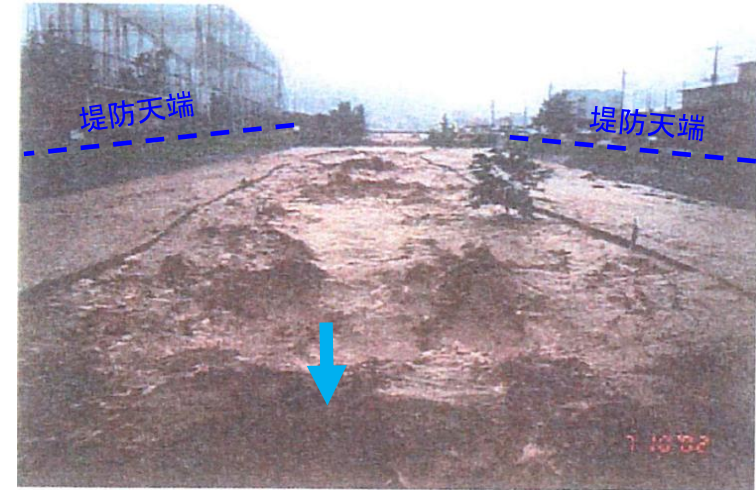
【標準横断面図】



【整備内容】○河川改修 L=1,200m
○河積の拡大による流下能力の向上
流下能力：300m³/s→390m³/s 治水安全度：1/36→1/50

【写真①】

平成14年 台風6号による出水状況
(平成14年7月10日)



【写真②】

現況河川状況 (令和6年10月時点)

